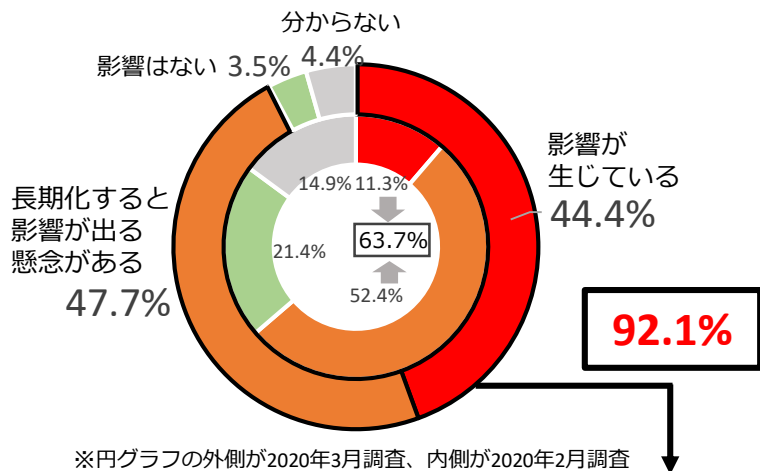


I. 中小企業の経営への影響 <日商・早期観測景気調査3月分>

新型コロナウイルスの経営への影響

経営への影響



具体的な影響の内容（懸念含む）

「影響が生じている」・「長期化すると影響が出る懸念がある」企業が対象
【複数回答・上位7項目】

製品・サービスの受注・売上減少、客数減少	72.7%
イベント・商談会等の延期・中止に伴う受注・販売機会の喪失	42.5%
従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増	26.1%
サプライチェーンへの打撃による納期遅れ（年度末の納期・工期に間に合わない等含む）	24.8%
資金繰りの悪化	23.1%
為替や株価の変動に伴う消費マインドの悪化	21.4%
小中高校等の一斉休校への対応に伴う影響（従業員の休暇取得による労働力不足、代替要員確保のためのコスト増など）	17.5%

今月の業況 —2020年3月の動向—

業況DI（※DI＝「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合）

	2019年		2020年				先行き見通し 4～6月	
	3月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
全産業	▲16.9	▲24.1	▲26.8	▲29.4	▲26.8	▲32.6	▲49.0	▲56.5
建設	▲5.8	▲7.9	▲6.9	▲12.8	▲10.4	▲13.0	▲18.6	▲33.0
製造	▲16.6	▲25.3	▲28.5	▲35.8	▲31.1	▲41.5	▲51.7	▲55.7
卸売	▲22.4	▲26.9	▲29.4	▲31.4	▲28.9	▲37.5	▲53.1	▲62.2
小売	▲29.5	▲38.6	▲42.4	▲40.4	▲38.0	▲39.5	▲58.9	▲65.5
サービス	▲11.7	▲20.4	▲23.8	▲23.9	▲23.4	▲28.6	▲55.8	▲62.1

【今月の業況】

- **全産業合計の業況DIは▲49.0**
前月比▲16.4ポイントの悪化幅は過去最大。
東日本大震災後の2011年6月（▲51.4）以来の水準。

【新型コロナウイルスによる経営への影響】

- **9割以上の企業で既に影響が発生（懸念含む）**
「影響が生じている」は前月比33.1ポイント増の44.4%
で2月から大幅に増加。「長期化すると影響が出る懸念がある」は前月比4.7ポイント減の47.7%。**全体の92.1%の企業で経営への影響が生じている、または長期化した場合に影響が生じる懸念があるという結果**になった。